

Kansai Geo-Symposium 2016

—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—

論文集

Proceedings of the *Kansai Geo-Symposium 2016*

平成 28 年 11 月

主催	公益社団法人 地盤工学会 関西支部
	地下水地盤環境に関する研究協議会
協賛	公益社団法人 土木学会 関西支部
	公益社団法人 日本材料学会 関西支部
	公益社団法人 日本地すべり学会 関西支部
	一般社団法人 日本建築学会 近畿支部
	公益社団法人 日本地下水学会
	一般社団法人 日本応用地質学会 関西支部
	公益社団法人 日本水環境学会 関西支部
	現場計測コンサルタント協会

まえがき

「*Kansai Geo-Symposium*」は、地盤工学会関西支部と地下水地盤環境に関する研究協議会が共催する地下水地盤環境、防災、計測技術に関する研究発表会であり、今年で4回目の開催となりました。

近年、地震や豪雨などによる斜面や道路盛土などの崩壊被害が後を絶ちません。今年4月に発生した熊本地震では、住宅や宅地、道路盛土など至る所で被害を受けました。また、福知山地区などを襲った平成26年8月豪雨は、各地に斜面崩壊などの甚大な被害をもたらしました。このような自然災害に備えるべく、本シンポジウムのテーマにもなっております防災や斜面モニタリングなどの計測技術の発展が、地盤工学のみならず、我が国の将来にとって喫緊に取り組むべき最重要課題であると言えます。

また、地下水に関しては地域依存性の高い、流動する資源として、これまでも地方自治体を含め様々な地下水管理に対する取組がなされてきました。特に、昨年閣議決定された「水循環基本計画」に基づいて、今後はより具体的に地下水の適切な管理と有効利用の推進が求められています。また、地下水の上昇により地震時の液状化の危険性も高くなることから、供用中の都市構造物の液状化対策といった困難を要する対応に、地盤工学的見地から有効な対策技術が求められるなど、地下水・地盤工学に携わる技術者・研究者に求められる知識や技術は今後一層多様化・高度化するものと考えられます。

「*Kansai Geo-Symposium 2016*」では、その副題に記されるように、地盤工学と関連分野の地下水地盤環境、防災、計測技術等の多岐にわたる分野の最新の研究・技術に関する厳正な審査を受けた47編の論文が発表されます。本シンポジウムを契機に関西地方で活躍する多分野の技術者・研究者の交流が更に活発となり、今後の地盤工学・地下水地盤環境の研究の発展に寄与できることを期待します。

なお、本シンポジウムの開催に当たっては、多くの官学諸団体に協賛を頂いております。ここに、関係各位に厚く感謝申し上げます。

平成28年11月18日

公益社団法人 地盤工学会関西支部
支部長 竹内 廣行
地下水地盤環境に関する研究協議会
座長 西垣 誠